

令和7年度指定研究実績報告書（英語指導法改善研究）

① 研究主題

他者を意識して、自分の思いや考えを伝え合うことができる児童の育成

—外国語でのコミュニケーションを楽しむ授業づくりを通して—

② 研究主題の設定理由

現代社会は知識基盤社会であり、こうした社会認識は今後も継承されていくものであるが、近年、情報化やグローバル化といった社会変化が、人間の予測を越え加速度的に進展するようになってきている。そんな時代を生き抜いていく子ども達には未知の世界を切り開くたくましさが不可欠であり、主体的に向き合って関わり合い、自ら問いをもち、その解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値を生み出していくことが求められる。

外国語・外国語活動は、外国語を用いて尋ね合い、伝え合い、コミュニケーションを楽しむことのできる児童の育成をねらいとしている。また、「話すこと」が[やり取り]と[発表]の2領域に分かれ、より自然な[やり取り]や自分のことをわかりやすく伝えるための[発表]を行う。話しやすさ・伝わりやすさ・わかりやすさ等を他者へ配慮しながら思考・判断・表現することでコミュニケーションの素地(基礎)となる資質・能力を育成することもねらいである。

本校においても、宜野湾市のこれまでの取り組みを活かし、高学年は教科としての外国語を実施、評価し、低中学年は外国語活動を再構築する。英語を使って思いや考えを伝え合う言語活動を通して、自他を大切に作るコミュニケーションの素地・基礎を育てていきたい。そのために、相手の発する外国語を注意深く聞いて、相手の思いを一生懸命に理解しようとしたり既習の知識を活用して、相手や他者に自分の思いを何とか伝えようとしたりする体験を通して、言語によるコミュニケーションの難しさや大切さを体得し、人と関わることの楽しさや喜びを感じられるようにしていきたい。

以上のことから外国語・外国語活動のメインテーマを「他者を意識して、自分の思いや考えを伝え合うことができる児童の育成」とし、サブテーマを～外国語でのコミュニケーションを楽しむ授業づくりを通して～とする。

③ 研究の主な内容

(1) 本年度の取り組み

1 学年

様々なゲームやアクティビティを通して英語の学習に取り組んだ。季節の行事について、ALTの母国や他国の文化について写真や話などから知り、日本との違いについて驚いたり感動したりすることができた。



2 学年

英語の歌やダンス、ゲーム等を通して、英語の学習に取り組んだ。Warm upの時間のあいさつを毎時間繰り返すことで、どの子もリズム感覚で楽しみながら英単語を学ぶことができています。また、ALTによる様々な外国の文化を積極的に紹介することで他国の文化に対する感心を高めている。

☆楽しく英語が学べるようなさまざまなアクティビティが盛りだくさん！

3 学年

教科書の unit を中心に、チャンツやゲームなどを通して、使いたい表現を身に着けることができるよう進めた。活動の流れが定着しているので、重要な表現や身に着けたい表現は繰り返し学習できた。



活動①warming up では、クラスリーダーが輪番で挨拶を行い、気分をたずねたり天気や曜日を確認

活動②A B C ソングやアルファベット書き順の練習

活動③本時のゴール確認 main activities

活動④振り返り コメントタイム



4 学年

① 導入 → クラスリーダーによる英語で挨拶。

(How are you today?) (How' s the weather?) (What day is it?)

英語の時間のルールを確認。アルファベットの読み書き。

前時の振り返り。

② 展開 → 本時の Today' s goal (めあて) の確認。ALTと担任によるデモンストレーション。アクティビティ

③ まとめ → 振り返り。児童のコメントタイム。

教科書を中心に、活動を計画的に進めている。内容としては、日常生活の中で身近な事が中心で、「好きな遊びを伝えよう」「おすすめの文房具セットを作ろう」「ほしいものは何か」等、Chant や game、Activity を中心に丁寧に活動することができた。



☆児童間でインタビューを交互に行い伝え合う活動。ALT も積極的に参加し学び合う。

5 学年

5 学年は授業の始めに簡単な英語のあいさつなどをリーダー中心に進めた。ALT や担任とのスモールトークを通し雰囲気作りからスタートしている。

年間計画を基に教科書を中心に進めたが、ハロウィンやクリスマス等の時期的なトピックも入れ、児童が外国語や文化に興味を持てるような取り組みを行った。



☆伝言ゲームなどを行い楽しみながら学習！一人では躊躇する英語の発表もグループ全員で取り組むことで安心して学習！

6 学年

6 学年では、授業の始めに英語でのあいさつや簡単なやり取りを取り入れ、リーダーを中心に主体的に進行できるようにした。ALT や担任とのスモールトークでは、既習表現を活用しながら自分の考えや気持ちを伝える活動を行い、英語でのコミュニケーションに慣れ親しめるよう雰囲気づくりを大切にしたい。ICT を活用した発表やペア・グループでの対話活動を充実させた。また、外国の文化や行事なども取り上げ、言語だけでなく文化的背景にも目を向けながら、より実践的に英語を使う力の育成を図った。



【単元の指導計画】

Lesson Plan 4(Tuesday11/25)

5年

単元： Lesson 6-4: What would you like?

めあて：料理の値段について、聞き取ったりたずね合ったりしよう。

Let's ask each other and find out about the price of dishes.

扱う表現：What would you like? I'd like grilled fish(¥350),corn soup(¥100),ice cream(¥200) and green tea(¥150).How much is the _____. How much is the total? It's ¥1000.

	活動	第 4 時
Warming up(5)	雰囲気作り・動機付け 1 Greeting/Rules/ Daily Questions 2 Phonics 3 Small talk	1. Class leader will lead the class. 2. Phonics Letter Hh. Guess the word. Give more examples that start with letter Hh. 3. Chant Box: How much is it? ♪ Small Talk: ALT~HRT HRT: Hello~ Hazel sensei. What would you like? ALT: I'd like grilled fish(¥350),corn soup(¥100),ice cream(¥200) and Green tea(¥150). How much is the___. How much is it? HRT: It's 1000.
Conclusion(10) Activity(30)	めあて達成の活動 ↓(デモンストレーション) 4.Today's Aim (めあて) 5.Activity1(Sub Activity) Introducing and Practicing New Words & Phrases 6. Activity2 (Main Activity) コミュニケーション めあてと正対したまとめ 7.Wrap-Up まとめ・振り返り	4. めあて: Let's ask each other and find out about the price of dishes. 料理の値段について、聞き取ったりたずね合ったりしよう。 ① Practice the names of the food etc. 5. Activity 1' ① Practice the names of the foods. ② Let's play 4 p.74: Play missing game .(Practice on how to say the bank notes/prices. ③ Let's listen 3 p.74 Listen to how much dishes that a character ordered cost. 6.Activity 2 ①Practice on how to do the group activity by playing How much is it? ②Let's try 3 p.75 Decide on dishes and their prices for your own restaurant in groups. ③ Ask volunteers to show their chosen menu. 7.Wrap up ● Read today's Goal/Please open your file and let's write today's comment. ● Any comments? ● Class leader let's finish. ALT/HRT: 1,2 Thank you very much, see you next time goodbye. See you rock, scissors, paper 1,2,3!

④ 研究の成果と課題

成果

- Warm up の時間に、あいさつ、曜日や天気の確認などを毎時間行うことで、それらの答え方に慣れてきた児童が多い。
- 事前の担任とのミーティングがあり、授業がスムーズに展開できている。
- 毎時間、様々なアクティビティが展開されていて、どの子も外国語の授業を楽しみにしている。
- ユニットごとに単元計画があり、打ち合わせの時間は限られていたが、授業の進め方は共通理解しながら進めることができた。
- 楽しく活動ができ、発表も積極的にできる児童が多くいた。
- 授業内容の計画的な実践が大変良い。
- 事前の担任との打ち合わせもきちんとできている。
- 児童が意欲的に色々な活動に取り組むことができ良い。
- ALT と事前に打ち合わせをすることで授業内容の共通理解や役割の確認ができた。
- デジタル教科書を活用し音声を繰り返し聞くことで、アクセントやリズムなどを捉えることができた。
- グループ活動を取り入れることで得意な子が苦手な子に教えるという自然なサポートが生まれたり児童同士で解決したりする姿が見られた。

課題

- 英単語を歌やリズムで覚えていたにも関わらず、スピーキングテストにおいては、実際に話すことができない児童もいた。
- 聞く力は個人差が大きい。
- 書く作業もあるので、英語ルームに机や椅子があった方がよい。
- 児童の聞く力を伸ばしていきたい。間違いを恐れず発音する意欲を身に付けさせたい。
- アルファベットの小文字の認識が定着していない児童がいる。
- 間違いを気にせず、まずは発音してみるという姿勢を身に付けさせたい。

⑤ 外部評価 ※学校児童アンケート

児童アンケートの結果では、「英語の授業がよくわかる」という質問に対して「あてはまる」「ややあてはまる」と答えたのは、全体の 74%であった。この結果から、多くの児童が英語学習に意欲的に取り組み、学習内容を理解していることがわかった。一方で、英語の理解が難しい児童や苦手意識のある児童も一定数いることがわかった。

